

波紋

No. 302号

「外壁の補修工事中！」



平成2年に建てられた森松本社ビルも、20年の歳月を経るとあちこち問題が出てきます。数年前から、各フロアの南側窓に近い天井から雨漏りが発生し、さらにこれまで暴風雨の時だけ発生していた雨漏りが、普通の雨でも起こるような状況でした。補修には外壁のパネルの目地を再シールする必要があるため、ご覧の様に足場を全面に組んで作業します。7月前半は雨が続いたので果たして予定工期内に完了するか？なんとか台風が来る前に完了して欲しいと願っております。



「会社の健康度」

社長 森直樹



森松展の準備が始まりつつあります。テーマは「今こそログイン」です。今年も新たな商品、情報を提供していきますのでご期待下さい！

最近、健康診断の結果が返ってきました。幸い再検診の必要もなく、一安心です。しかしコレステロールが徐々に上がってきており、食生活や運動不足など生活習慣で思い当たるところは多々あります。

運動とは体に負荷を掛けることですが、適度な分量を定期的に行うことで新陳代謝が上がり、体に余計な脂肪を溜めることを防ぎます。また体を動かすことでストレス軽減や脳の思考自体にも良い影響が有るようです。つまり、運動は健康維持だけでなく、それ以上の効果が有り、私自身週に一回は体を動かす時間を作るようにしています。

それでは会社にとって健康的であるということは何でしょうか。一つの業務に対して一人しか対応できなければ、その業務の負荷がそのまま対応可能な人に全て掛かってきます。分担が出来る仕組みが出来ていること、それが急な問題発生時にも上手く乗り越えられる、負荷に強い組織でしょう。細かなコミュニケーションの取れる、良い雰囲気作りもストレスの少ない職場ということで健康的です。現時点では足りない点もありますが、心と体のバランスが取れてこそ健康であるように、職場もコミュニケーションとそれに基づいた仕事の仕組みがあつてこそより効率的な良い仕事に繋がることでしょう。それがその企業の持つ力ということです。森松も健康的で、体力のある会社を目指します。

「iPadの使い方ベスト10」

岩間 正美(製造部)



先日、会社でiPadを購入して頂きました。いろいろなアプリを探してはインストールして活用しようとしていますが、世間の皆はどんな使い方をしていいのか気になり調べてみました。iPadが発売されてから約二ヶ月になるうとしていますが、調査会社がiPadの利用状況を調べた結果です。使い方は

- 1位 ウェブサイトの閲覧
- 2位 電子BOOKを読む
- 3位 メール
- 4位 動画をみる
- 5位 ゲームをする
- 6位 音楽を聴く
- 7位 地図を見る
- 8位 スケジュール管理
- 9位 写真の管理
- 10位 ツイッターとなっています。



iPhoneやスマートフォン画面では小さく見えないのが、ウェブサイトを拡大して見れるのは魅力なんですよね。(ただ、フラッシュ非対応なのが...)あと、用途として、プライベートVSビジネスは82%VS2%で、圧倒的にプライベートに使用しており、携帯性では、持ち歩いている人が44%、いない人が24%、必要があれば持ち出す人が32%、1日の利用時間の平均は2〜3時間の人が21%です。iPadの満足な点は、デザインが74%、画面の見やすさ74%、操作性60%、バッテリーのもち46%です。

私はというと、やはりウェブサイトの閲覧がメインで、たまに孫とゲームをするくらいにしか使っていません。まずは、数多いアプリの中から活用できるアプリを探し、どう使いこなしていくかですね。

「知多四国霊場巡拝」

村田 恒夫(総務部)



今年には息子と一緒に、車遍路で知多四国霊場を巡拝(全行程は、194km)することになりました。知多四国八十八ヶ所霊場は、88寺の他に開山所3寺、番外札所7寺を併せた98寺で成り立っています。4月に第一番札所清涼山曹源寺(豊明)の納経所にて、車遍路用の地図(知多四国めぐりドライブ地図)を購入しました。この地図は八十八ヶ所霊場への地図が詳細に書かれていて、駐車場の位置から道幅の狭いところまでが表示されているので、車遍路には必需品です。7月現在、豊明からスタートし大府、東浦、阿久比、半田、武豊町、美浜、南知多町迄(47番札所持宝院)進んでいます。最近ではお寺の線香の匂いも気にならなくなり、一時「無」になれるような不思議な空気が自分にとっては心地良い気がします。その他、知多四国霊場巡拝へ行く楽しみの一つとして、知多方面での食事があります。大府ではPS放送など、テレビでも紹介されたラーメン晴レル屋の「つけめん」を30分並んで食べました。(美味しかったです)師崎では大アサリ、まるは食堂では大エビフライ等、海の幸が大好きな私にとっては、巡拝より海の幸を優先しますが、今年中に満願します。



「2010年上海万博の日本館の感想」

日本館は万博で最も人気のあるパビリオンのひとつです。上海万博のA区に位置しており、遠くより見渡すと巨大な紫蚕が黄浦江にあるようです。この中は、呼吸が可能なエコ建築で、新型画像センサーやロボットによるバイオリンの演出があります。日本館では近未来の生活を展示し、都市問題の先端技術による具現化、たとえば都市の水資源問題や下水道の汚染水を浄化し飲料水にする技術、海水を処理し真水に処理する技術などのアイデアです。また「ゼロ排出都市」については写真やマルチメディア、実物を通じて、2020年二酸化炭素排出ゼロの都市を目指すべく展示しています。これらの技術、人々の活動および精神を通じ、個人の努力が無数の可能性を開拓すると思います。たとえば、超高解像度、超望遠の「万能カメラ」、これは画像を取り入れると同時に、人の笑顔を認識してから追跡撮影を自動で行います。参加者はこのパビリオンの中で近未来を代表する数多くの技術を体験する事ができます。現在、日本館は毎日平均2万人の参観者がいます。待ち時間は約3時間必要です。日本館は「心技の和」の美しいイメージ、人々が地球への真摯なる愛、自然探索への熱情を打ち出しています。地球のため、緑のある家庭のためにエコを実現する省資源、循環再利用、低排出の都市生活のために人類の責任は重く、道は長いです。万博は都市生活をより良いものとしします。



森松上海事務所 倪建成

「体調管理」

長崎修 (特販部)



夏バテ防止対策としての食生活を
 食べたり飲んだりしていただきますか。我が家
 では家庭菜園をするのにもいいものがあります。トマ
 スイカ、とうもろこし、近所かぼちやにトマ
 生の姜も買いました。近所かぼちやにトマ
 等のアロマを頂いた。近所かぼちやにトマ
 豊作でした。アロマを頂いた。近所かぼちやにトマ
 チョコレート、今回は子供たちと甘い料理に
 は生姜、みりんと砂糖、塩少々。調味料は
 と簡単には作れません。甘味は砂糖、塩少々。調味料は
 いて、その市販の甘味は砂糖、塩少々。調味料は
 何で、その市販の甘味は砂糖、塩少々。調味料は
 長崎家は夏バテ防止を兼ねて、家庭菜園を通じ嫌
 いなくす。子供たちと甘い料理を楽しむ
 を育てる。子供たちと甘い料理を楽しむ
 穫る楽しみ。子供たちと甘い料理を楽しむ
 食卓に並べていただきます。子供たちと甘い料理を楽しむ
 し、子供たちと甘い料理を楽しむ



第18回元気が出る森松展

【テーマ】 今こそログイン ～確かな材料が名古屋に集合～

【開催日時】 2010年10月14日(木)～10月15日(金)
(9:00～17:00)

【会場】 森松株式会社本社ビル 5F

8月の予定

28日(土)	23日(月)	18日(水)	14日(土)	16日(月)	13日(金)	12日(木)	10日(火)	7日(土)	3日(火)	2日(月)	1日(日)
第4土曜日休み	経営会議 16時10分～17時	CS向上会議 15時10分～16時	生産会議 12時～13時	小坂美香さん誕生日	福重貞子さん誕生日	夏季休暇	松本美代子さん誕生日	第1土曜日休み	文紙メッセ(マイドームおおさか)	河野光代さん誕生日	



「お世話になりました。」

加藤 貴幸(製造部)



この度、5年間働かせてもらった森松を退社することになりました。私にとって初めての就職で右も左もわからない状態で、たくさん先輩方にご迷惑をおかけしました。この5年間振り返って見ると、とてつもなく月日を経っていったなと思います。私にとっても、一番の自信になったのはPOP作業でした。初めて大きな作業を任せてもらって作業効率や人員の配置、上司への報告や連絡、打ち合わせ、トラブルなど色々な事を学ばせていただきました。今後の予定はまだ自分自身決まっていますが、最終的には実家で親父と家族と一緒に会社を守っていきたく思います。森松の皆さんありがとうございました。

